

公益社団法人小豆島青年会議所

小豆島開拓委員会事業概要書

副理事長 太田 善貴 委員長 三木 淳史 副委員長 三木 政人

事業計画に至る背景
並びに現状分析

1. 近年のコロナ禍において、キャンプは三密を回避できるレジャーとして市場拡大しています。小豆島において、ロッジやキャンプ場の宿泊者は、平成18年から平成27年までは総宿泊者数のうち18%でしたが、平成28年からは16%（1,000名程度）と減少しています。しかし、コロナ禍の令和2年においては、19%と増加しております。小豆島は、アウトドアに適した環境が豊富にあるにも関わらず魅力を十分に発信できていない現状であります。
2. 子供たちの心身の健全な育成にはスポーツが大変有効であり、自己責任や克己心、主体性や自己肯定感を培うことができます。また、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力や他者を尊重し協同する精神を育むことができます。昨年のオリンピックでは若くして活躍する選手が多くいました。小豆島の子供たちも未来の可能性にむけ多様な視野を持って選択の幅を増やし挑戦していくことは非常に重要です。

目的

1. 小豆島で行うアウトドア・キャンプの楽しみ方や魅力を知ってもらう。
2. 小豆島の子どもたちに将来の夢に向かって挑戦していける気付きや克己心を与える機会の提供。

事業内容

1. 小豆島でアウトドアに精通した講師を招き一般参加型体験事業の実施を行いその様子をSNSで発信する。
2. 若くして活躍しているスポーツ選手を招き体験談を聞き体験事業を行う。

対象者

1. アウトドアに興味のある方、SNS利用者
2. 小豆郡内在住の小学生・中学生・高校生

パートナー

1. 小豆島町、土庄町、アウトドアに精通した方、小豆島内キャンプ施設、小豆島内企業、アウトドアブランド、小豆島観光協会
2. スポーツ選手、スポーツブランド、スポーツ用品店、小豆島町・土庄町教育委員会

効果

1. 小豆島で行うアウトドア・キャンプの楽しみ方や魅力を知ってもらうことにより、アウトドア・キャンプを目的とした観光客の増加に繋がる。
2. 世界で活躍する選手の実りある体験を知ること子供たちに夢に向かって挑戦していく機会を与える。